

平成28年度6月補正予算（案）の概要

観光振興の切れ目ない展開と第一次産業分野のさらなる強化

飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

『志国高知 幕末維新博』（平成29年3月開幕）



歴史資源の磨き上げ（リアル化）と
観光クラスター形成を支援



養殖魚（クロマグロ）の
人工種苗生産技術開発を加速化



次世代型ハウスの
導入等を支援



高知県観光キャンペーン

リョーマ
Ryoma Holiday
の休日

平成29年、大政奉還150年。平成30年、明治維新150年。

「世界津波の日」
高校生サミット
を開催



© やなせたかし

平成28年6月1日
高知県総務部財政課

1. 経済の活性化

805百万円

■観光振興の切れ目のない展開と第一次産業分野のさらなる強化

- ◆（観光分野）「志国高知 幕末維新博」の開幕に向けて、**歴史資源の磨き上げ（リアル化）と観光クラスターの形成**を支援
- ◆（農業分野）収量の増加等に向けて、産地パワーアップ計画に基づく**次世代型ハウスの導入等**を支援
- ◆（水産業分野）**養殖魚（クロマグロ）の人工種苗生産技術開発を加速化**するため、水産試験場古満目分場（仮称）を開設

2. 日本一の健康長寿県づくり

13百万円

- ◆社会福祉法人の**経営労務管理等の改善**を支援

3. 南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

301百万円

- ◆国内外の高校生300人を招き「世界津波の日」**高校生サミット**を開催（11月下旬を予定）
- ◆市町村の**簡易水道施設の耐震化**に係る整備を支援

4. その他

98百万円

■熊本地震への対応に要した経費の補正

- ◆災害派遣医療チーム、被災宅地危険度判定士、災害応援隊など、**被災地に対する人的支援**に要した経費

■その他

- ◆牧野植物園の空調機器改修工事
- ◆中村高等技術学校の落石防止対策工事
- ◆土佐西南大規模公園体育館などの改修工事（「世界津波の日」高校生サミット対応）

6月補正予算（案）の全体像

歳入

(単位 千円、%)

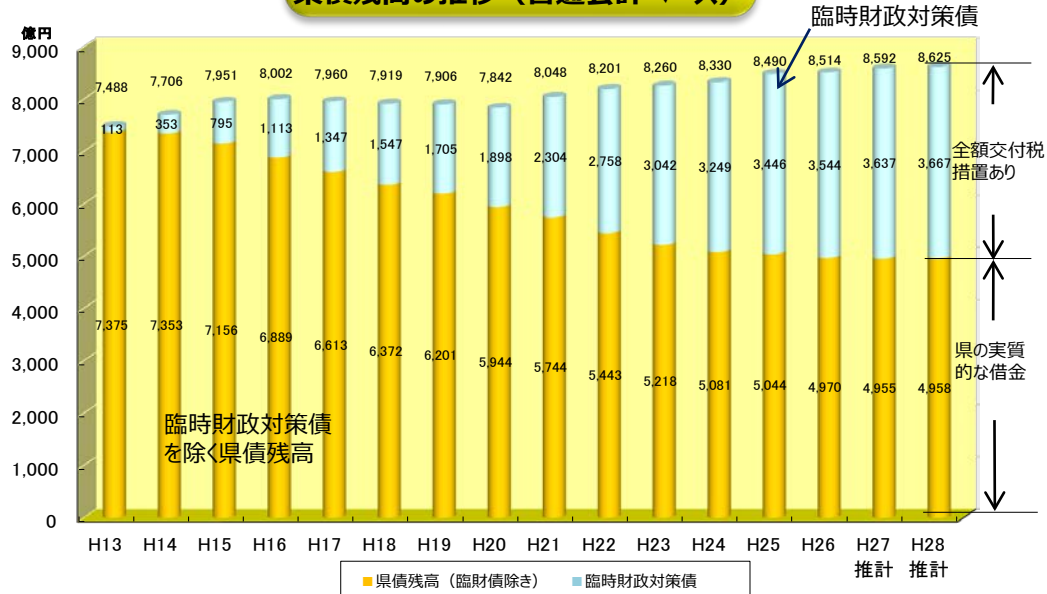
区 分	平成 28 年 度			前年度6月補正後 (D)	前年度6月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	補正額(B)	計 (A+B=C)		
(1) 一般財源	312,181,438	417,486	312,598,924	309,896,580	0.9
県 税	65,424,531		65,424,531	60,735,424	7.7
地方消費税清算金	27,511,818		27,511,818	26,188,582	5.1
地方譲与税	12,553,000		12,553,000	14,025,000	△ 10.5
地方交付税等 (ア+イ)	194,352,000		194,352,000	197,668,000	△ 1.7
(うち地方交付税) ア	(173,041,000)		(173,041,000)	(172,179,000)	(0.5)
(うち臨時財政対策債) イ	(21,311,000)		(21,311,000)	(25,489,000)	(△ 16.4)
財調基金取崩	2,000,000	417,486	2,417,486	2,058,049	17.5
その他	10,340,089		10,340,089	9,221,525	12.1
(2) 特定財源	150,327,520	799,700	151,127,220	148,852,023	1.5
国庫支出金	67,021,557	359,088	67,380,645	65,723,689	2.8
県 債 エ	45,895,000	264,000	46,159,000	46,986,000	△ 1.8
(うち退職手当債) オ	(3,000,000)		(3,000,000)	(3,000,000)	
減債基金(ルール外分) カ	8,833,031		8,833,031	7,714,609	14.5
その他	28,577,932	176,612	28,754,544	28,427,725	0.5
総計 (1)+(2)	462,508,958	1,217,186	463,726,144	458,748,603	1.1
県債計 (イ+エ:再掲)	67,206,000	264,000	67,470,000	72,475,000	△ 6.9
財源不足額 (イ+カ+オ:再掲)	13,833,031	417,486	14,250,517	12,772,658	11.6

歳出

(単位 千円、%)

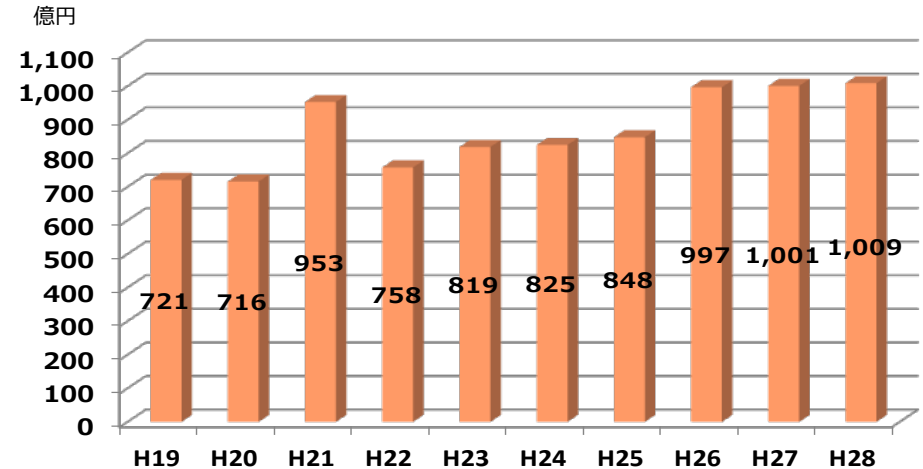
区 分	平成 28 年 度			前年度6月補正後 (D)	前年度6月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	補正額(B)	計 (A+B=C)		
(1) 経常的経費	358,859,996	393,547	359,253,543	353,925,393	1.5
人 件 費	118,882,381		118,882,381	120,050,145	△ 1.0
(うち退職手当を除く)	(105,133,383)		(105,133,383)	(106,301,147)	(△ 1.1)
扶 助 費	12,489,579		12,489,579	12,020,924	3.9
公 債 費	70,068,584		70,068,584	69,497,560	0.8
その他	157,419,452	393,547	157,812,999	152,356,764	3.6
(2) 投資的経費	103,648,962	823,639	104,472,601	104,823,210	△ 0.3
普通建設事業費	100,027,372	823,639	100,851,011	100,138,369	0.7
補助事業費	67,175,017	503,753	67,678,770	70,236,472	△ 3.6
単独事業費	32,852,355	319,886	33,172,241	29,901,897	10.9
災害復旧事業費	3,621,590		3,621,590	4,684,841	△ 22.7
総計 (1)+(2)	462,508,958	1,217,186	463,726,144	458,748,603	1.1

県債残高の推移 (普通会計ベース)



※ 臨時財政対策債
本来地方交付税で措置されるべき額について、国の財政事情が厳しいことから、臨時的に地方債として配分されているもの。後年度、元利償還金の全額が地方交付税措置される。

普通建設事業費 6月補正後予算の推移



－ 主要な事業の概要 －

経済の活性化

・歴史資源の磨き上げ（リアル化）と観光クラスターの形成 P4

・次世代型こうち新施設園芸システムの普及促進 P6

・高知県水産試験場古満目分場（仮称）の開設 P7

南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

・「世界津波の日」高校生サミットの開催 P8

その他

・熊本地震への支援について P9

- 『志国高知 幕末維新博』（平成29年3月～）の開催にあわせ、市町村等の行う歴史資源の磨き上げ（リアル化）及びその磨き上げた歴史資源と、地域の「食」や「自然」などが一体となった観光クラスターの形成（周遊コースづくり）を支援する。
- 地域地域に本物が感じられる歴史資源の充実と、県内を周遊するルートを整え、博覧会終了後も全国から多くの誘客を図りうる観光地づくりを推進する。
- あわせて、外国人観光客のさらなる誘客を目指し、多言語化など国際観光にも対応した受入環境の整備を推進する。

歴史資源の磨き上げ（リアル化）とは

将来にわたって活用できる歴史資源の整備

基本となる考え方

- 1 核となる歴史施設の磨き上げとあわせて施設周辺の資源も掘り起こし、本物の歴史資源（文化財、史跡、歴史資料等）を見せる
- 2 本物の歴史資源が、時代を超えてリアルに感じられるよう、資源の持つ意義や時代背景など様々な観点から説明されている
- 3 来訪者の幅広いニーズに対応した展示、解説ができています

観光クラスターの形成とは

地域の観光事業者同士の連携による周遊コースづくり

基本となる考え方

- 1 観光客のニーズ（見る、遊ぶ、食べる、買うなど）に合わせたサービスを一定のエリア内で提供できている
- 2 観光クラスター内を周遊できる仕組み（二次交通手段）を有している
- 3 各観光施設・事業者等が連携した情報拡散・相互誘導や、地元ならではの食や製品の提供に取り組んでいる

新たな補助制度を創設し、市町村の取り組みを支援

NEW 歴史観光資源等強化事業費補助金

① 歴史資源磨き上げ（リアル化）事業

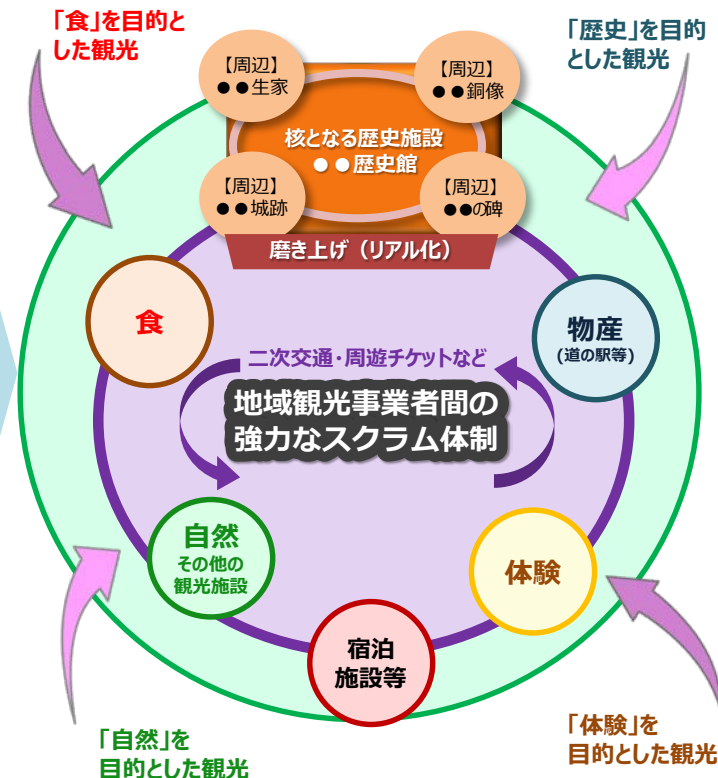
補助先：市町村
（博覧会の地域会場を有する市町村）
補助率：2/3
補助額：上限3億円
※ガイド養成：上限100万円（定額）
予算計上額：2.45億円

② 観光クラスター形成事業

補助先：市町村
（博覧会の地域会場を有する市町村）
補助率：2/3
補助額：上限2千万円
※ガイド養成：上限100万円（定額）
予算計上額：2.95億円

博覧会の地域会場を有しないその他市町村での取り組みは、既存の観光拠点等整備事業費補助金等で支援

観光クラスターのイメージ図

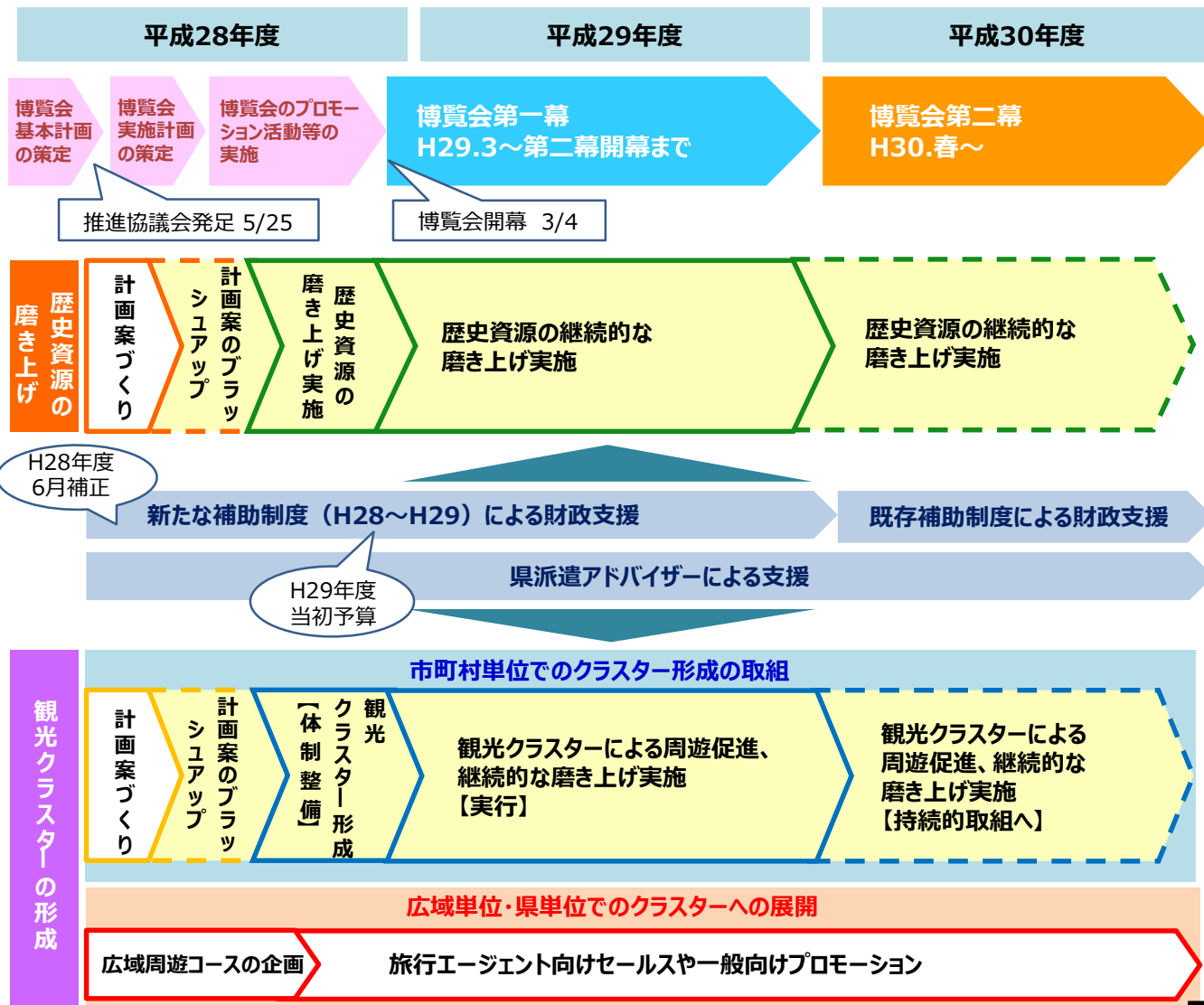


歴史資源の磨き上げ（リアル化）と観光クラスターの形成 2/2

『志国高知 幕末維新博』 会場一覧

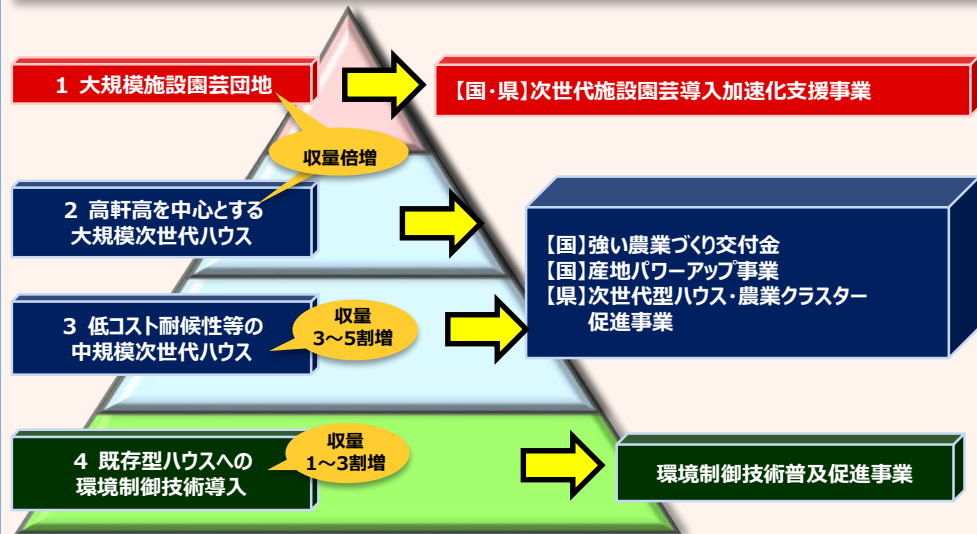
会場区分	施設名	所在地
メイン会場	① 高知県立高知城歴史博物館	高知市
	② 高知県立坂本龍馬記念館	高知市
サブ会場	③ こうち旅広場	高知市
	④ 室戸世界ジオパークセンター	室戸市
地域会場 (予定)	⑤ 中岡慎太郎館	北川村
	⑥ 岡御殿	田野町
	⑦ 安田まちなみ交流館・和	安田町
	⑧ 安芸市立歴史民俗資料館	安芸市
	⑨ 絵金蔵	香南市
	⑩ 創造広場 アクトランド	香南市
	⑪ 高知県立歴史民俗資料館	南国市
	⑫ 高知県立美術館	高知市
	⑬ 高知城	高知市
	⑭ 高知県立文学館	高知市
	⑮ 高知市立自由民権記念館	高知市
	⑯ 高知市立龍馬の生まれたまち記念館	高知市
	⑰ いの町紙の博物館	いの町
	⑱ 佐川町立青山文庫	佐川町
	⑲ 吉村虎太郎邸	津野町
	⑳ 梶原千百年物語り	梶原町
	㉑ 四万十市立郷土資料館	四万十市
	㉒ 宿毛市立宿毛歴史館	宿毛市
	㉓ ジョン万次郎資料館	土佐清水市

「志国高知 幕末維新博」を通じた 歴史資源の磨き上げ（リアル化）と観光クラスター形成の取組スケジュール



次世代型こうち新施設園芸システムの普及

国費事業及び県単事業を総動員して、次世代型こうち新施設園芸システムの中核をなす「次世代型ハウス」の普及を促進



平成28年度当初予算

本年度からは、産地パワーアップ事業及び次世代型ハウス・農業クラスター促進事業により、次世代型ハウスの普及を強力に推進。

<国費事業>
【産地パワーアップ事業】 235,013千円

<県単事業>
【次世代型ハウス・農業クラスター促進事業費（県単クラスター加算有）】
222,500千円
※国費事業にも継ぎ足し可

- ⑧ 安芸市 ナス 1ha 産地パワーアップ事業
- ⑨ 日高村 トマト 50a 次世代型ハウス・農業クラスター促進事業

平成28年度6月補正

国費事業の配分増に対応し、次世代型ハウスの導入等を加速化。

拡 【産地パワーアップ事業】 173,129千円



- ⑩ 香南市 ニラ 産地パワーアップ事業
- ⑪ 芸西村 ピーマン 産地パワーアップ事業

これまでの実績

H25.9補正～H27年度

次世代施設園芸導入加速化支援事業



① 四万十町次世代団地
4.3ha (H28.3完成)
販売目標 6億円

強い農業づくり交付金



四万十あおぞらファーム
種苗供給施設
50a (H28.2完成)
販売目標 1億円

次世代施設園芸モデル事業

H26.9補正

② 安芸市 ピーマン
42a (H28.3完成)
販売目標：37,088千円
新たな雇用：2名

③ 芸西村 ピーマン
57a (H28.3完成)
販売目標：30,000千円
新たな雇用：4名

④ 香南市 ニラ
40a (H28.2完成)
販売目標：19,914千円
新たな雇用：1名

H27年度

⑤ 南国市 メロン
41a (H27.11完成)
販売目標：33,067千円
新たな雇用：1名

⑥ 安田町 赤ピーマン
55a (H28完成予定)
販売目標：33,000千円
新たな雇用：1名

H27.9補正

⑦ 南国市 パプリカ
80a (H28完成予定)
販売目標：61,200千円
新たな雇用：6名

これらの実績に加えて

次世代型ハウスの普及拡大

H27：7箇所（約7.5ha）

H28：11箇所（約10.5ha）



さらなる整備

生産増 ⇒ 所得向上 ⇒ 担い手の増加の好循環へ！！



古満目分場の概要

国立研究開発法人水産研究・教育機構
から増養殖研究所古満目庁舎を無償譲渡

1 設置目的

- クロマグロ等の人工種苗生産技術開発の加速化
- 養殖魚の赤潮・魚病対策
- 養殖用種苗の生産技術開発に取り組む企業や大学等への支援

2 設置時期

平成28年10月1日



古満目庁舎



130トン水槽

3 組織・定数

水産技術職員2名（分場長、担当）

4 試験研究等

（1）クロマグロの人工種苗生産技術の開発（H28～H30）

- 共同研究による餌料用ふ化仔魚の生産技術開発
- マダイふ化仔魚等に替わる新たな餌料の開発
- 中間育成技術の確立

（2）産地間競争に打ち勝つための新たな養殖魚種の開発（H31～）

- 魚種の絞り込みと人工種苗生産技術の開発
- 養殖業者への普及促進

（3）養殖生産量の8割を占める宿毛湾の事業者に対する技術支援（H28～）

- 赤潮被害の軽減のための赤潮プランクトン早期検知技術の確立
- 魚病被害の拡大防止のためのDNA分析に基づく魚病診断技術の高度化
- 研究員が分析結果と専門的な知識をもって養殖技術全般を指導

（4）オープンラボ（開放型陸上水槽）の設置（H29～）

- 陸上水槽等をオープンラボとして企業等に貸与（公募）

幡多地域広域水産業クラスターの概要

【日本一の種苗生産・中間育成拠点の形成】

- カンパチ・クロマグロ人工種苗の量産体制の確立
- 試験研究機関の充実・強化
- 中間育成漁場の開拓



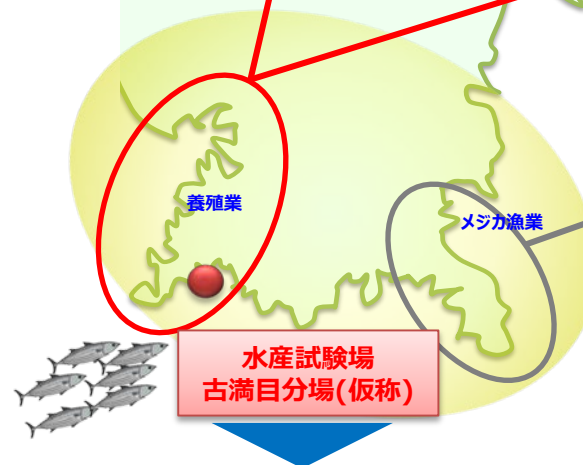
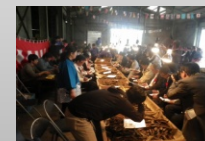
【養殖魚加工ビジネスの拡大】

- HACCPに対応した加工施設の誘致
- 既存加工施設の衛生管理や生産性の高度化
- 商社等と連携した輸出ビジネスへのチャレンジ



【メジカ加工ビジネスの振興】

- 加工原魚の安定確保
- 加工残さい処理体制の再構築
- 宗田節加工経営体の経営体質の強化
- 新製品の開発、販売促進



宿毛湾の養殖業を支え、産業振興計画の目標を達成!!

産業振興計画における養殖業（県全体）の目標値

	H25	H31	H33	H37
生産量（トン）	18,923	19,100	19,700	20,300
うちクロマグロ	1,163	1,400	2,000	2,300
生産額（億円）	201	208	225	238
うちクロマグロ	33	39	56	65

概要

(1) 目的

次世代を担う国内・国外の高校生を本県に招き、フィールドワークなどを行う「世界津波の日」高校生サミットを開催することにより、防災分野で活躍する将来のリーダーを育成する。

(2) 主催

高知県、高知県教育委員会、黒潮町、黒潮町教育委員会

※「世界津波の日」（11月5日）
災害に対する早期警報や伝統的知識の活用、復興を通じた災害への備えと迅速な情報共有の重要性を認識し、すべての加盟国の意識向上のため、平成27年12月に制定された国際連合の共通記念日。

会場

黒潮町
(土佐西南大規模公園体育館ほか)

メイン会場



<土佐西南大規模公園体育館>

フィールドワーク



<安政津波の碑>



<津波避難タワー>



<避難場所>
(コウジン山)



高知県

黒潮町

参加者

国外及び国内の高校生
その他関係者 合計約500人

- 国外の高校生：約200人
(中国、韓国、ASEAN等24か国を予定)



- 国内の高校生：約100人

開催日・プログラム

平成28年11月25日（金）～ 11月26日（土）

【1日目】

- <開会>
・レセプション



【2日目】

- ・被災地からの報告
- ・プレゼンテーション
(OCED東北スクール)
- ・分科会
- ・フィールドワーク
- ・交流ランチ
- ・記念植樹、記念撮影
- ・分科会報告

宣言採択

- <閉会>
・フェアウェルパーティー（閉会后）

国際的な防災イベントである高校生サミットを地域の方々や高校生等と密接に連携して実施

- 参加する高校生だけでなく県民全体への啓発効果を期待
- 国内をはじめ、世界各国に向けて高知県の防災の取組をアピール

さらに...

高知県の観光分野や防災関連製品をPRする良い機会に

熊本地震への支援について

危機管理・防災課まとめ（5/30現在 継続支援含む）

1. 人的支援（合計 延べ418名）

(1) 緊急消防援助隊の派遣（延べ89名）

※上空からの情報収集活動や地上での捜索活動に従事

- 消防防災航空隊「おとめ」（延べ37名を派遣）
- 地上部隊（高知県隊）（計52名を派遣）

(2) 警察部隊の派遣（計77名）

※捜索活動や交通渋滞対策、犯罪の未然防止対策等に従事

- 広域緊急援助隊（計57名を派遣）
- 県警航空隊ヘリ「くろしお」（4名派遣）
- 特別自動車警ら部隊（6名派遣）
- 特別機動捜査部隊（4名派遣）
- 特別交通部隊（6名派遣）

(3) 災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣（計67名）

※民間病院を含めた延べ14チームが医療活動等に従事

(4) ドクターヘリの派遣（6名）※うち4名は上記(3)の再掲

※患者搬送活動に従事

(5) 保健活動チームの派遣（計32名）

※避難所や被災地区での保健活動に従事

(6) 災害派遣精神医療チーム（DPAT）の派遣（計21名）

※被災者の「心のケア」など精神面の専門的支援活動に従事

(7) 被災建築物応急危険度判定士の派遣（計24名を派遣）

※被災した建築物を調査して、倒壊などの危険性を判定する活動に従事

(8) 被災宅地危険度判定士の派遣（計45名を派遣）

※被災した宅地の危険度を判定する活動に従事

(9) 森林土木職員の派遣（計3名を派遣）

※山地災害箇所の復旧計画書の作成を支援

(10) 高知県災害応援隊の派遣（計47名を派遣）

※県及び市町村の職員を派遣して避難所の運営を支援

(11) 事務職員の派遣（計11名を派遣）

※罹災証明交付事務や仮設住宅受付事務などを支援



熊本地震への対応に要した経費の補正 27,181千円

国、全国知事会等から法令等に基づき派遣（支援を含む）要請を受けるなど、派遣等が確定している経費及び県独自の被災地支援に速やかに対応するため必要となる経費を6月補正予算に計上する。

2. 義援金（県に寄せられた支援の状況）

約35,799千円（513件） ※5/30現在

3. 見舞金

（熊本県） 50万円

4. 県営住宅等への避難者の受け入れ

公営住宅177戸を確保（家賃全額免除、連帯保証人不要措置を実施）

5. その他

県立高等学校等の入学料等不徴収（被災地域の生徒を対象）

1 経済の活性化

NEW

歴史資源の磨き上げと 観光クラスター形成を支援 540,000 (歴史観光資源等強化事業費補助金)

平成29年3月に開幕する「志国高知 幕末維新博」の取組を通じて、県内に存在する歴史資源の磨き上げ（リアル化）と、磨き上げた歴史資源を含めた観光資源を一体的に周遊できるコース（観光クラスター）の整備等を総合的に支援する。

(1) 歴史資源磨き上げ（リアル化）事業

補助先：博覧会の地域会場を有する市町村

実施主体：①～③市町村等、

④市町村等、市町村の観光協会・観光ガイド団体

補助率：①～③ 2/3、上限300,000千円

④ 定額（1,000千円）

補助対象：①地域会場の展示更新や展示内容等の磨き上げ

②周辺歴史資源の磨き上げ

③地域会場や周辺歴史資源の多言語化

④観光ガイドの養成

(2) 観光クラスター形成事業

補助先：博覧会の地域会場を有する市町村

（観光クラスター協議会の設置が要件）

実施主体：①～④市町村等、市町村の観光協会、

民間事業者（観光クラスター構成員）

⑤市町村等、市町村の観光協会・観光ガイド団体

補助率：①～④ 2/3、上限20,000千円

⑤ 定額（1,000千円）

補助対象：①周遊促進のための計画策定

②PRツール作成、磨き上げ

③二次交通整備

④クラスター内の多言語化

⑤観光ガイドの養成

(観光振興部 地域観光課)

NEW

売上高の拡大や経営コストの縮減 などに取り組む担い手を支援 30,000 (担い手確保・経営強化支援事業費補助金)

経営発展（売上高の拡大や経営コストの縮減など）に意欲的に取り組む地域の担い手が、融資を活用して農業用機械等の導入等を行う事業へ助成する。

補助先：市町村

実施主体：認定農業者（法人）

※農業経営基盤強化促進法に規定する経営改善計画の認定を受けた者

補助率：事業費の1/2又は融資額のいずれか低い額

補助限度額：30,000千円

補助対象：農業用機械のほか、選果機、加工設備、ビニールハウス等

※当該事業に係る経費から融資等の額を除いた自己負担部分に対して助成する。

※H27国補正予算事業

(農業振興部 農地・担い手対策課)

拡

「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な 作物・栽培体系への転換を支援 173,129 (産地パワーアップ事業費補助金)

「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を総合的に支援する。

補助先：市町村等

実施主体：農業者団体等

補助率：1/2以内

事業内容：耕種作物に関する施設及びリース方式による農業機械等の導入



(農業振興部 産地・流通支援課)

NEW

**収益力の高い作物を導入する取組や
作物の価値向上の取組を支援 19,790**
(中山間地域等担い手収益力向上支援事業費補助金)

中山間地域等において、新たに借り受ける農地又は既存の経営農地において収益力の高い作物を導入する取組や作物のブランド化の取組により収益力向上を目指す担い手を支援する。

補助先：市町村

実施主体：認定農業者、認定新規就農者、集落営農等

補助率：定額（5万円／10a）

補助対象：担い手が作成し、市町村が認定する「収益力向上計画」に基づく取組

- ①収益力の高い作物を導入する取組
- ②作物の価値向上の取組

補助要件：今後3年間で、取組面積あたりの作物の販売額が10%以上向上することが見込まれること

※H27国補正予算事業



(農業振興部 地域農業推進課)



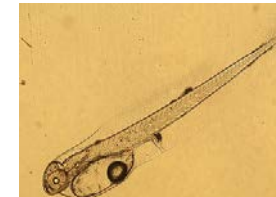
飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

NEW

水産試験場古満目分場(仮称)の開設 38,774

国立研究開発法人水産研究・教育機構から古満目庁舎の移管を受けることに伴い、当該施設を水産試験場古満目分場(仮称)として開設し、クロマグロをはじめとする有望魚種の人工種苗生産技術開発に係る試験研究を開始する。

- (1) 水産試験場管理運営費 1,643千円
- (2) 水産試験場古満目分場(仮称)管理運営費 16,866千円
- (3) 水産試験場古満目分場(仮称)施設整備費 14,297千円
- (4) 水産試験場古満目分場(仮称)試験研究費 5,968千円



(水産振興部 漁業振興課)

NEW

大敷組合のビジネスモデルの構築 3,475

国立研究開発法人水産研究・教育機構開発調査センターからの事業受託により、大敷組合のビジネスモデルの構築を行う。
(黒潮町鈴大敷周辺の海底地形調査や鈴定置漁獲物の販路開拓に係る実証化調査)

事務費 3,475千円



(水産振興部 合併・流通支援課)

2 日本一の健康長寿県づくり

NEW

経営労務管理の改善を図る
社会福祉法人を支援 13,340

(社会福祉法人経営労務管理改善支援事業費補助金)

社会福祉法人が経営労務管理の改善を図るとともに、福祉人材の確保を促進することができるよう、専門家による相談支援等を受ける際の経費を助成する。

補助先：社会福祉法人

補助率：定額（460千円）

補助対象：雇用管理の改善や人材育成、経営体制の強化について、専門家による相談支援を受ける場合の経費

※国補助金におけるメニュー新設

(地域福祉部 地域福祉政策課)

日本一の健康長寿県構想

県民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるために

3 南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

拡

簡易水道施設の耐震化の促進 292,572
(生活基盤施設耐震化等交付金)

市町村の簡易水道施設の耐震化を推進するために必要な経費について、国交付金を交付する。

交付先：市町村

交付率：4/10、1/3、1/4

※国内示増への対応

(健康政策部 食品・衛生課)

NEW

「世界津波の日」高校生サミットの開催 8,465

「世界津波の日」高校生サミットを県と黒潮町の主催により開催するにあたり必要となる経費について黒潮町と負担する。

※「世界津波の日」高校生サミット

開催日：平成28年11月25日～平成28年11月26日

開催場所：県立土佐西南大規模公園体育館、
ふるさと総合センター（黒潮町内）

後援予定：外務省、文部科学省、経済協力開発機構(OECD)東京センター
参加予定者数：約500名

(国外高校生約200名、国内高校生約100名 ほか)

(1) 世界津波の日高校生サミット開催事業費負担金 7,220千円

負担先：黒潮町

負担割合：1/2

(2) 事務費 1,245千円



(危機管理部 南海トラフ地震対策課)

4 その他

NEW

牧野植物園展示館の空調機器の改修 28,733

老朽化に伴い故障した牧野植物園展示館の空調機器の更新を行う。

- (1) 設計委託料 738千円
委託内容：設備改修の設計委託
契約先：民間企業
契約方法：随意契約
- (2) 工事請負費 27,995千円
契約先：民間企業
契約方法：指名競争入札



(林業振興・環境部 環境共生課)

NEW

土佐西南大規模公園の施設改修 34,746

(都市公園単独事業費)

「世界津波の日」高校生サミットの開催にあたり、会場となる土佐西南大規模公園体育館等のトイレ改修工事を実施する。

- 契約内容：トイレ改修工事に要する経費（工事・工事監理）
契約先：民間企業
契約方法：一般競争入札



(土木部 公園下水道課)

NEW

中村高等技術学校への落石防止のための 防護柵の設置 8,052

中村高等技術学校の実習棟及びグラウンドへの落石防止のため防護柵を設置する。

- ①中村校落石防護柵設置工事設計等委託料 1,279千円
委託内容：積算等施工監理
委託先：(公社)高知県建設技術公社
契約方法：随意契約
- ②中村校落石防護柵設置工事請負費 6,773千円
契約先：民間企業
契約方法：指名競争入札

(商工労働部 雇用労働政策課)



高知県観光キャンペーン

リョーマ
Ryoma Holiday の休日

平成29年、大政奉還150年。平成30年、明治維新150年。